

【2025年度 教育連携委員会 事業計画】

- 目的
- 加盟校の教育・研究の質を高める「多元的学び」を提供する取り組みとして、加盟校の教育事業についての相互連携、教育資源及びテクノロジー活用に関する相乗効果を図る。「大学間連携による多様な教育ニーズ」に対応する教育活動を通じて、多様な学生の交流を促進し、学修動機と学修経験の強化、教育効果の向上を目指す。
- さらに、学生の所属校の垣根を越えた学びに対して単位認定の道を開くことで、学生が幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性の涵養を図るとともに、コンソーシアム事業への参画の動機づけや、地域貢献活動の実現も期待する。

- 委員校
- （全：22校）
- 委員長校：神戸大学、副委員長校：大手前大学
- 委員校：大手前大学短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、関西学院大学、関西学院短期大学、甲南大学、神戸医療未来大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸芸術工科大学、神戸国際大学、神戸市看護大学、神戸松蔭大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、園田学園大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学、流通科学大学

○中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標/予算等

課題及び期待される効果	取組	達成目標	活動指標	予算（千円）
課題⑦大学間連携による多様な教育ニーズへの対応	1. 単位互換事業の実施	各年開放科目数 10科目以上	参加学生数30名、 （送り出し校数5校 以上）/年	565
	2. 多様な学修機会の提供	各年プログラム数 5件以上	参加者数50名以上/年	35

【2025年度 教育連携委員会 事業計画（⑦取組1）】単位互換事業の実施

計画（4月記載）			自己評価（12月記載）				報告（3月記載）		
加盟校において幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県の地域特性や加盟校の特徴を生かした授業及び集中講義を中心とした単位互換事業を実施する。その際に距離的・時間的制約により履修が困難とされてきた授業について、可能な範囲で教育のＩＣＴ化の工夫を取り入れる。 1. 2025年度単位互換事業の実施 地域や大学の強みを活かした特色ある科目や、フィールドワーク等の実践的な内容を「開放科目」として開講する。 年間で開放科目数10科目以上、参加学生数30名以上、送り出し校数5校以上を活動指標として、事業の推進を図る。 2. 単位互換包括協定書締結大学の拡大 包括協定未締結校に対して、継続的な働きかけを行い、協定校の拡充を目指す。協定数の増加を通じて、より多様な学びの機会を提供する体制の構築を図る。 3. 広報活動の強化 本事業の認知度向上のため、ホームページ、ポスター、履修案内リーフレット、説明動画、デジタルサイネージ向け動画等の広報媒体を活用し、効果的な情報発信を行う。 あわせて、2026年度の広報ポスター・チラシについては公募制を導入し、学生・教職員の参加意識を高めるとともに、事業への関心を促進する。 4. 運営体制の改善に向けた検討 単位互換事業のさらなる充実と円滑な運営を図るため、現行の運営体制や実施方法についての改善策を検討するために、意見交換などを行う。									
達成目標に対する実績									
活動指標に対する実績									
自己評価基準：対到達目標※							—		
自己評価基準：対継続性※							—		
事業収支	収入	565,000円	支出		収支		支出		収支
理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）									
※自己評価基準：対到達目標	4：当初計画を上回って達成　3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った　1：当初計画を下回った				※自己評価基準：対継続性	4：本プログラムは継続すべき　3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要　1：本プログラムは中止すべき			

【2025年度 教育連携委員会 事業計画（⑦取組2）】多様な学修機会の提供

計画（4月記載）			自己評価（12月記載）				報告（3月記載）		
加盟校に通う学生等に、多様な学修機会を提供するため、本計画期間内において、加盟校が実施する講座等を開放し、学びの機会を継続的に提供するとともに、「大学eラーニング協議会共通基盤教育システム」を広く加盟校に運用していただきながら、ＩＣＴを活用したコンテンツ制作の支援活動を行う。 1. 公開講座等の大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校への開放 2025年度においても加盟校の公開講座やセミナー等の多様な学修機会を大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の教職員ならびに学生へ広く開放することとする。 また、今年度より公開対象のセミナーを「協力：一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸」と広報等のチラシに記載することとする。 2. ICTを活用したコンテンツの検討 「大学eラーニング協議会共通基盤教育システム」を教育連携委員会委員校以外の加盟校にも広く周知するとともに、ＩＣＴを活用した授業コンテンツ等について、大学間の情報交換やコンテンツ制作支援につながる活動を引き続き行う。									
達成目標に対する実績									
活動指標に対する実績									
自己評価基準：対到達目標※							—		
自己評価基準：対継続性※							—		
事業収支	収入	35,000円	支出		収支		支出		収支
理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）									
※自己評価基準：対到達目標	4：当初計画を上回って達成　3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った　1：当初計画を下回った				※自己評価基準：対継続性	4：本プログラムは継続すべき　3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要　1：本プログラムは中止すべき			

【2025年度 教育連携委員会 事業予算】

(単位：円)

		予算	各プログラム 予算		委員会 予算
			取組1	取組2	
			単位互換事業	多様な学修機会の提供事業	
			予算額	予算額	
収入	会費収入	700,000	565,000	35,000	100,000
	助成事業収入	0			
	受託事業収入	0			
	プログラム収入	0			
	雑収入	0			
	戻入金	0			
	計	700,000	565,000	35,000	100,000
支出	会議費	10,000			10,000
	旅費交通費	10,000			10,000
	通信運搬費	0			
	消耗品費	10,000			10,000
	新聞図書費	0			
	印刷製本費	255,000	185,000		70,000
	光熱水料費	0			
	賃借料	0			
	保険料	0			
	謝金	80,000	80,000		
	租税公課	0			
	支払手数料	1,000		1,000	
	諸会費	34,000		34,000	
	委託費	300,000	300,000		
	人件費	0			
	接待交際費	0			
	支払支援金	0			
	雑費	0			
	計	700,000	565,000	35,000	100,000
収入－支出		0			